

アルジェリア政治・経済月例報告
(2016年8月)

平成28年9月
在アルジェリア日本国大使館

1. 内政

● 改正軍人基本法の公布

3日、改正軍人基本法が公布された。いかなる場所、いかなる状況でも国の名誉及び尊厳を傷つけ、また政府や軍事機構のイメージを損ねる退役軍人による公的発言を終身禁止し、万が一公的発言を行った場合は、勲章剥奪、階級引き下げ及び公的機関による告訴の対象となると定められた。

● 改正投資法の公布

3日、アルジェリアが経済多角化を目指す経済改革の一環として改正投資法が公布された。出資51/49規制については、同法での規定は削除されたが、2016年予算法で規制されていることから引き続き外国投資家に対して要求される。また、国家が外国株主の譲渡における優先的買受け権を保有することにも変更はない。一方で、工業に加え、観光業及び農業で有益と認められたものに関しては、通常消費税の免除を含む免税や関税の撤廃に加え、最上級の優遇措置がとられ、また、アルジェリア国家全体の経済に資すると見做されれば、優遇期間を10年間に延長できる等の特別待遇が認められることとなった。加えて、投資プロジェクトを管理する組織を新たに設置することとなった。

● 8月20日殉教者記念日のブーテフリカ大統領のメッセージ

殉教者記念日である20日、ブーテフリカ大統領はアルジェリア国民にメッセージを発出した。今日アルジェリアが直面する多くの課題に対し、国民に共通の努力を強固にしていく機会を与える旨誓った他、国内治安の安定化を弁護し、経済成長に向けて働くことを誓った。また、国家運営の中で犯されたミスにより国が最も困難な時代を迎えたと評価した上で1980年代についても取り上げた。

2. 外交

● ラマムラ外相の次期AUC委員長立候補の可能性

報道によれば、キクウェテ前タンザニア大統領及びラマムラ・アルジェリア

外相がバティリ元セネガル外相とともにズマAUC委員長の後任候補として立候補する。ラマムラ外相の立候補の可能性は高くなっており、これにより西サハラ問題に関するAUのコンセンサスを揺るがそうとするモロッコは封じられることになる予想される。モロッコ外務省アフリカ局が作成した対外秘の文書には、ラマムラ外相がAUC委員長に当選すればモロッコにとり大きな問題となり、西サハラ問題に関するモロッコの立場に対して長く困難な挑戦が始まることとなると記されている。

● アルジェリア・モロッコ関係

20日、ブーテフリカ大統領が「モロッコ国王・国民革命記念日」に際してモハメッド6世国王に対して祝電を発出するなど、これまで冷却化していたアルジェリア・モロッコ関係に変化の兆しがみられる。ブーテフリカ大統領は、「モロッコ国王・国民革命記念日」および「青年の日」に際して、モハメッド6世モロッコ国王に対して祝電を発出し、両国民をつなげる友好関係と団結を強化するための不変の決意を改めて表明した。

3. 治安

● ニハールちゃん誘拐・殺害事件

ティジ・ウズ県にて7月21日から行方不明となっていたニハールちゃん（4歳、女兒）が2日、自宅からほど遠くない場所で遺体となって見つかったと共和国検事が4日発表した。現地で憲兵隊が頭蓋骨及び衣服を発見し、国立犯罪学・犯罪科学学院がこれらをDNA鑑定した結果、遺体がニハールちゃんであることが発覚した。共和国検事は事態の重大性及び保秘の観点から事件の詳細について述べなかった。ニハールちゃんは町の中で行方不明となり、また、拉致及び殺害の犯人の名前もわかっておらず、疑問が多く残っている。

● AQIMのジュンド・エル・カリファ残党への呼びかけ

報道によれば、AQIMは「和解」作戦と称し、ジュンド・エル・カリファの残党を懐柔すべくEメールにて呼びかけを行った。ジュンド・エル・カリファは元々AQIM傘下の組織であったが、2014年にイスラム国へ忠誠を誓う旨発表していた。治安部門高官によれば、過去AQIMリーダーであるドゥルクデルはジュンド・エル・カリファとの宗教対話も拒否していたが、アルジェリア治安部門によるテロ掃討作戦により力を失っており、また新たにテロリストとなることを望む人がいないことにより、ジハーディズムの生き残りをかけて「和解」作戦を決行した。現在ジュンド・エル・カリファ残党は30名未満であり、今回の「和解」作戦により10名のメンバーがAQIMへ加盟した

ことにより、ジュンド・エル・カリファは近いうちに消滅するであろう。

● 麻薬統計

各紙がアルジェリア国立麻薬対策局による2016年上半期の麻薬・薬物に関する摘発・押収データを報じたところ、以下のとおり。対応した麻薬・薬物事案の総数は15,328件（昨年同時期比+60.57%）であり、内訳は麻薬・薬物取引3,780件、麻薬・薬物所持・消費11,541件、大麻・アヘン栽培4件となっている。逮捕者総数は19,682（昨年同時期比+53.19%）であり、うち大麻樹脂取引4,130人、向精神薬取引2,170人となっている。麻薬・薬物常習者に関しては、26歳から35歳が1,965人、35歳以上が994人、15歳未満274人であり、独身者3,895人、既婚者1,282人、女性416人となっている。また常習者の56.28%が無職、10.3%が学生である。常習者5,350人が医療ケア乃至治療を受けたが、そのうち約40%が16歳から25歳の年齢層に属する。

4. 経済

● 「グローバル・イノベーション・インデックス」報告書

16日、世界知的所有権機関（WIPO）は、世界各国におけるイノベーションをめぐる様々な要素を比較した2016年度版の「グローバル・イノベーション・インデックス」を発表した。同報告書において、アルジェリアは調査対象国128位中113位となった（前年は141カ国中126位）。

● 1月-7月の貿易額

アルジェリア関税局・国家統計情報センター（CNIS）が発表した統計によると、1月-7月の輸出額は151億7,000万ドルを計上し、対前年同期比31.48%となった（前年同期は221億ドル）。輸入額に関しては277億ドルを計上し、対前年同期比14.14%減となった（前年同期は315億3,000万ドル）。輸出相手国上位5カ国は、1位がイタリア（29億9,000万ドル）、2位がスペイン（20億8,000万ドル）、3位がフランス（14億7,000万ドル）、4位がアメリカ（10億9,000万ドル）、5位がカナダ（9億9,400万ドル）となった。

● 1月-7月の自動車輸入額

税関当局の発表によると、2016年1月-7月の自動車輸入額は7億6,800万ドルで、対前年同期比68%減となった（前年同期は24億ドル）。輸入台数に関しては、5万3,356台で、対前年同期比73.74%減となった

(前年同期は20万3,174台)。輸入台数上位6メーカーは以下の通り。

メーカー	輸入台数	輸入額
1. ルノー	1万9,058台	1億7,600万ドル
2. プジョー	9,458台	9,400万ドル
3. VW	5,718台	8,150万ドル
4. キア	3,301台	2,800万ドル
5. 日産	2,286台	4,300万ドル
6. トヨタ	1,163台	2,400万ドル

5. 我が国との関係

● メサヘル大臣のTICAD参加

28日、TICAD VIにブーテフリカ大統領の名代として参加したメサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣は、ケニヤッタ大統領と会談し、ブーテフリカ大統領からの書面メッセージを手交した。同大臣はケニヤッタ大統領に対して、TICADの成功とケニア・アルジェリア関係の強化への決意についてのブーテフリカ大統領による完全なる支持がある旨述べた。また、同大臣より、11月にナイロビで開催される第1回ケニア・ナイジェリア合同委員会の準備状況を説明した。この他、会談では、アフリカの角、リビア、西サハラ等の地域の治安、次回AU総会等につき議論された。また同日、メサヘル大臣は、ジュグノート・モーリシャス首相と会談し、ブーテフリカ大統領のメッセージを転達した。同大臣は、二国間関係強化への意欲・決意を伝えるとともに、アフリカの状況・課題につき議論し、アフリカ内及び国際場裡での協調の強化で一致した。

<アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
8月2日	インドネシア	ブシュアレブ産業・鉱業大臣	第12回世界イスラム経済フォーラムに出席
8月8日	チャド	メデルシ憲法評議会議長	大統領就任式に出席
8月27日	ケニア	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣	TICAD VIに出席

<外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
8月20日	ニジェール	バズーム国務・内務・治安・地方分権・儀典・宗教大臣	セラル首相、ラマムラ外務大臣、メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣、アイッサ宗教大臣、ベドゥイ内務大臣と会談等
8月24日	国連	アナディフ国連事務総長特使兼国連マリ多元統合安定化ミッション(MINUSMAU)代表	セラル首相、ラマムラ外務大臣、ブーテルファ・エネルギー大臣と会談等
8月27日	中国	李中国・アラブ経済フォーラム担当大使	ラービヒ外務省次官と会談等
8月30日	パレスチナ	アブ・マズーク・ハマス副代表	サアダニFLN(国民解放戦線)党首と会談等

(了)